



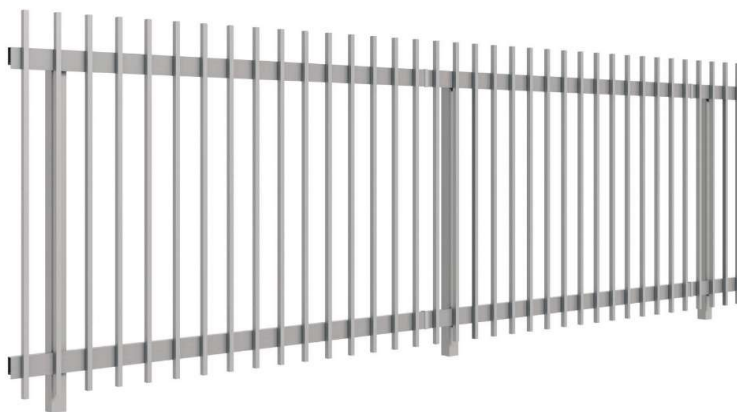
Third party verified  
Environmental Product Declaration

Conformance with  
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

三協立山株式会社

三協立山株式会社  
SankyoTateyama, Inc

## 建材用低炭素アルミ型材「Re-ALumi 100」 100% recycled aluminum profiles for building material



※ガラス、部品は除く

登録番号

SuMPO-EPD-2602-95-1

検証合格日

2026/2/9

公開日

2026/5/8

検証有効期間

2031/2/8

EPDタイプ

グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2007

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。

EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。

<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

## ●基本情報

### >プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	<a href="https://ecoleaf-label.jp">https://ecoleaf-label.jp</a>

### >GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.1.1
PCR名称	建材及び建設製品
PCR登録番号	PA-SuMPO-PCR-01000-2-0-1
PCR認定日	2025/3/31
レビューパネル委員長（所属）	伊香賀 俊治（慶応義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 理事長）
PCR有効期限	2030/3/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

### >検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2007に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者（所属）	伊藤 未緒（一般財団法人 カケンテストセンター）		

### >準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならぬため、建設製品における建材のフットプリント全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

## ●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	三協立山株式会社 サステナビリティ推進部 SankyoTateyama,Inc Sustainability Promotion Department
住所	富山県高岡市早川70
問い合わせ先	0766-20-2221
LCA算定実施者（所属）	三協立山株式会社 サステナビリティ推進部 喜多 和彦
事業者概要	三協立山の事業は、建材事業（住宅・ビル建材、エクステリア）、マテリアル事業（アルミニウム・マグネシウム合金の押出・加工）、商業施設事業（店舗什器・サイン）、そして海外でアルミ鋳造・押出・加工を行う国際事業の4つの領域で展開されています。これらの事業を通じて、人々の暮らしを豊かにする製品やサービスを提供しています。

## ●製品情報

製品名称	建材用低炭素アルミ形材「Re-ALumi 100」 100% recycled aluminum profiles for building material		
製品の型式	アルミ形材（中間財）		
製品仕様	製品機能	アルミ形材	
	製品質量	1kg	換算係数 -
	製品の用途	アルミニウム製のサッシ、カーテンウォール等	
	技術性能	A6063に準拠したアルミ押出形材	
耐用年数	年数	建物等の使用期間に準ずる	
	使用条件	建物等の使用条件に準ずる	
	年数を設定した根拠	-	
製造サイト（製造拠点）	奈呉工場（富山県射水市奈呉の江8-3） 射水工場（富山県射水市奈呉の江13-3） 石川工場（石川県羽咋郡宝達志水町杉野屋ぬ-1-1） 新湊東工場（富山県射水市新堀28-1）		
製品概要	アルミニウム新地金を使用しない、アルミリサイクル材料を100%使用したアルミ建材です。		
製品ウェブサイト	-		

## ●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
アルミニウム	残98以上	0.99	kg
マグネシウム	0.5	0.005	kg
ケイ素	0.4	0.004	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
PEフィルム	35.7	3.90E-03	kg
テープ類	31.9	3.49E-03	kg
プラスチック発泡製品	17.7	1.93E-03	kg
紙類	14.8	1.61E-03	kg

※ 数値はグループ製品EPDにおける加重平均値です。

## ●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO <sub>2</sub> eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	0.00	0.00
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	7.54E-04	2.76E-03

※ 数値はグループ製品EPDにおける加重平均値です。

## ●LCA 関連情報

### > EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品	<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品	
	サイトタイプ	<input type="checkbox"/> 特定サイト	<input checked="" type="checkbox"/> 複数サイト		
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	<input type="checkbox"/> 代表値	<input type="checkbox"/> 上限値
地理的範囲		グローバル			
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける 代表性の説明		本EPDでは形状の異なる複数の製品を1つにまとめるため、宣言単位あたりの質量を製造拠点ごとの生産量に基づく加重平均値を用いて算定した。			
複数製品/複数サイトを 含むEPDにおける、算定結果 の上下幅に関する説明		<p>当該製品は、形状の異なる複数製品から構成されるグループ製品EPDであるが、アルミ原料として使用される回収材および二次地金に対し、成分を微調整するために投入される添加金属の比率の増減が僅かである原材料を用い、かつ同一の生産工程により製造されている。このため、対象となる開示項目における拠点間の差異は±10%以内に収まる。</p> <p>本製品の押出工場国内3拠点では燃料の種類や工場規模の違いにより算定結果に差異が生じる場合があるが、同一の生産工程で製造されているため、対象開示項目における拠点間の差異は±10%以内に収まる。</p> <p>また、アルミ原料である回収材および二次地金の成分を微調整するため添加金属が投入されるが、その投入量は微量で投入比率の増減も僅かであるため環境負荷への影響は小さく、対象開示項目において添加金属の投入量および投入比率による環境負荷の差異は±10%以内に収まる。</p>			
複数製品EPDの説明		添加金属の構成比率がほぼ同一の原材料を使用し、かつ同一の生産工程で製造された納入形状が多様な製品のグループEPD			

### > LCA関連情報

宣言単位	1kg		
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	-		
基準フロー (機能単位を満たすために必要な製品数)	-		
システム境界	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to Gate	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options	<input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave
LCAソフトウェア	Cloud MiLCA ver1.2.1.6		
LCIデータベース	IDEA ver.3.4		
特性化モデル	気候変動：IPCC第6次評価報告書(IPCC,2021年)、その他の影響領域：LIME2		
その他のバックグラウンドデータ	-		
二次データ品質	GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044：2006 (環境マネジメント-ライフサイクルアセスメント-要求事項及び指針)の4.2.3.6に従って行った。		
一次データ収集拠点	奈良工場、射水工場、石川工場、新湊東工場		
一次データ収集期間	2024/9/1~2025/8/31		
生物由来炭素の取り扱い	<input type="checkbox"/> 0/0アプローチ	<input checked="" type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	使用有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス	<input type="checkbox"/> その他
	種類	-	
	購入日	-	
	発行元	-	

### > 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階								解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連							
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D	
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益	
■	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

■：算定対象 -：算定対象外

### > アロケーション

本算定では、GPIIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。ユーティリティおよび副資材、梱包資材、廃棄物は生産重量を用いて按分し求めている。

### > カットオフ

カットオフの対象としたプロセスはない。

### > システム境界

PCRに基づき設定を行い、Cradle-to-Gate (A1~A3) を評価範囲、A4-Dをシステム境界外とした。時間的システム境界は100年である。

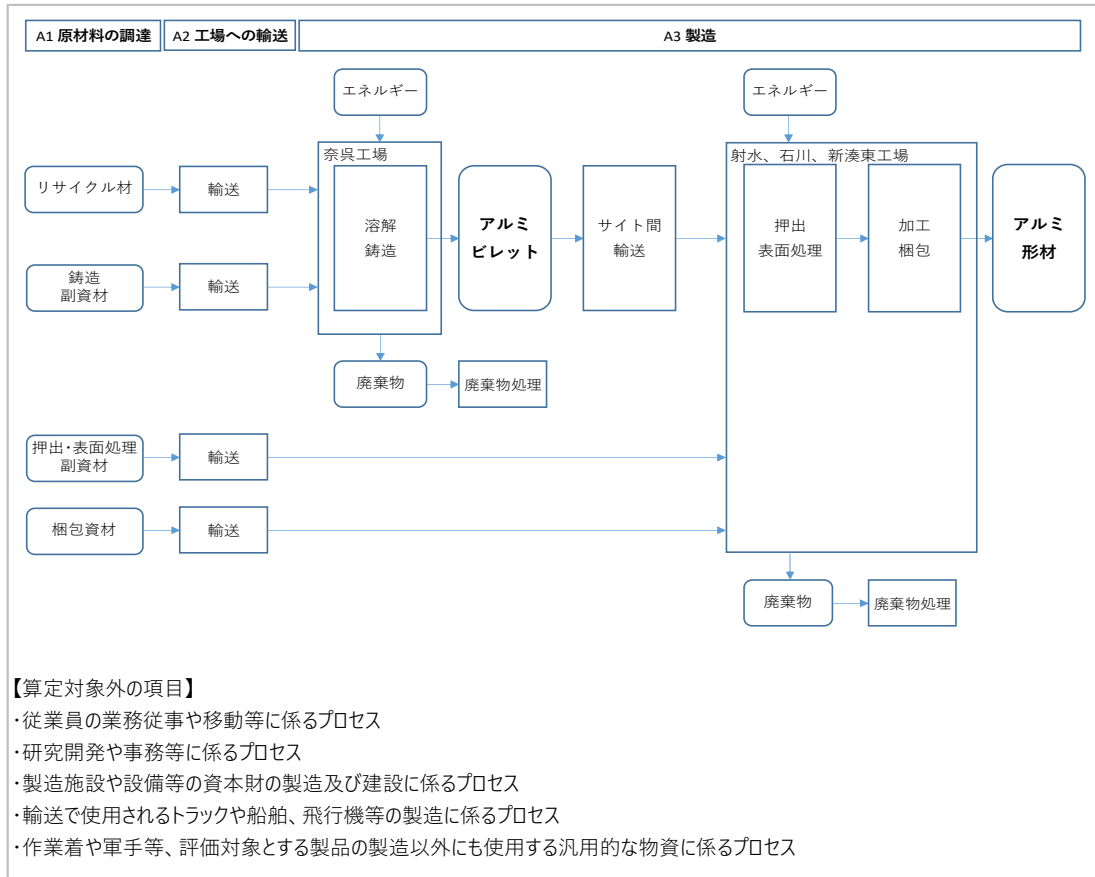
### > シナリオ

モジュール	説明
A2	工場への輸送においては、回収材・二次地金・添加金属・薬剤・副資材・梱包材の輸送距離として、PCR Annex B「輸送シナリオ」に定められた県間輸送距離および県内輸送距離を用い、各調達量に応じて按分した値を使用しました。
A3	廃棄物の工場から廃棄物処理業者への輸送における輸送距離として、PCR Annex B「輸送シナリオ」に定められた県間輸送距離および県内輸送距離を用い、各廃棄物輸送量に応じて按分した値を使用しました。

## > 電力モデリング

工場の電力は、2021年における日本平均の系統電力のデータを用いて算出した。

## > ライフサイクルフロー図







## > LCA算定結果に関する説明

・工場への輸送においては、回収材・二次地金・添加金属・薬剤・副資材・梱包材の輸送距離および廃棄物の工場から廃棄物処理業者への輸送における輸送距離として、PCR Annex B「輸送シナリオ」に定められた県間輸送距離および県内輸送距離を用い、各調達量に応じて按分した値を使用しました。

・対象製品は通年生産ではないため、生産実績のある月の集計データを用いて算定を行いました。なお、当該月のデータは他の月と比較しても変動が小さいことを確認しており、算定結果は一定の代表性を有しています。

・EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがあります。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認してください。 <https://ecoleaf-label.jp/epd/>

## ●追加環境情報

### > LCAに関連しない追加環境情報

ISO14001認証取得工場で生産しています。

### > 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
硫酸ニッケル	7786-81-4	化審法<優先評価化学物質>：工場で使用
ほう酸	10043-35-3	化管法<第一種指定化学物質>：工場で使用

### 建材および建設製品からの危険物質の放出

アルミ型材からの危険物質の放出は想定されません。

## ●用語の定義

—

## ●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO14067:2018 Greenhouse gases — Carbon footprint of products — Requirements and guidelines for quantification
- ・ISO21930:2007 Sustainability in building construction — Environmental declaration of building products